〈H17-6-A : 解答〉

1. 正しい。図法の三要素を、同時に満足させることはできない。
2. 正しい。正距図法では、中心地点からの距離のみを満足させる。
3. 正しい。問題文のとおり。
4. 正しい。問題文のとおり。
5. 間違い。正距図法と、正積図法を両立させた円錐図法がある。

※正距、正角、正積の3条件は、同一図法の中で、「正距と正角」「正距と正積」の条件を同時に正しく表示することはできるが、「正角と正積」を同時に正しく表すことはできない。

解答 : 5

〈H17-6-B : 解答〉

- a. 三角点及び **ア : 電子基準点** は真位置に描画する。
- b. 原則として自然地物と人工地物では **イ : 人工地物** を転位する。
- c. 有形線と無形線の場合、 **ウ : 無形線** を転位する。
- d. **エ : 海岸線** は、優先して真位置に描画する。

よって最も適切なものは 4 である。

解答 : 4

〈H17-6-C : 解答〉

1. 正しい。
2. 正しい。市役所付近の標高が不明でも等高線を追っていくと海拔 5m 以下であることがわかる。
3. 間違い。標高差からロープウェイ傾斜角はおよそ 17 度である。
4. 正しい。(函館山近辺に消防署と保健所はないので地元受験者の早とちりを誘った問題か)
5. 正しい。図上読取り約 4cm、枠 11.1cm、枠緯度差 $90'' : 4\text{cm} / 11.1\text{cm} \times 90'' = 32''$

解答 : 3

〈H17-6-D : 解答〉

1. 正しい。データ互換性確保のための規定がある。
2. 正しい。問題文のとおり。
3. 正しい。問題文のとおり。クリアリングハウスとは検索システムを指す。
4. 間違い。空間データの書式はすでに何種類もあり、地理院のものが絶対ではない。
5. 正しい。問題文のとおり。

解答 : 4